

「神戸ゴルフ倶楽部

CHG初イベント

創立110年記念式典参加付きツアー」

2013年6月4日・5日開催



CHGスタッフ
郡上がお届けします!

C HGがオープンして初めてのツアーイベント「神戸ゴルフ倶楽部創立110年記念式典参加付きツアー」の様子をご紹介します。

1日目の会場となりました神戸ゴルフ倶楽部は日本で初めてのゴルフ場で、創立110年を迎えました。六甲山の頂上近くにあるこのゴルフ倶楽部は、標高800Mほど。地元のタクシーの運転手も迷ってしまうほど複雑な道のりで、ゴルフ倶楽部に近づくにつれ、道も細くなり「ここで合っているのか」と不安になってしまうほど、神戸ゴルフ倶楽部はひっそりとたたずんでいます。いざクラブハウスを目の前にしてみても、名門コースと聞いて想像するような華やかさはなく、やはりこじんまりしていました。豪華なク

ラブハウスに慣れ親しんだゴルフカーには物足りなさを感じるかもしれませんが、一歩クラブハウスに足を踏み入れたとたん、凛とした空気に身が引き締まります。

神

戸ゴルフ倶楽部では驚くべきことがたくさんあります。まず初めに、ゴルフウェアに着替えようとしたのですが、**決まったロッカーがありません**。通常なら、チェックインの際にカードキーを受け取って使用できるロッカーを指定されるのですが、神戸ゴルフ倶楽部ではそういったことはなく、空いているロッカーを探して使います。また、ロッカーには施錠はせず、貴重品のみ預けるとい形式でした。これは神戸ゴルフ倶楽部が110年間ずっと守り続けてきた伝統

「家族的な雰囲気のある倶楽部」の表れなのでしょう。他のゴルフ場では真似できない仕組みですね。

そももう一つ、他のゴルフ場ではなかなか聞いたことのないルールがあります。それは、**パターを含めた10本以内のクラブでしかプレーできない**ということ。そのため、まずゴルフ場についてら専用のゴルフバックにクラブを入れ替えなくては いけません。というのも神戸ゴルフクラブは典型的な山岳コースで、のぼりくだりがとても激しいコースです。乗用カートがなく、キャディーさんの負担を考慮しての10本制限のルールであるようですが、少ないクラブでどう攻めるか考えてプレーするのも楽しみの一つですね。クラブ選びがスコアを左右

するので、みなさん真剣にクラブ選別をしているのがとても印象的でした。



よいよラウンドです。天気は快晴。これ以上ないほどのゴルフ日和でした。標高が高いこともあって、梅雨の時期には10M先が見えないほどの濃霧に包まれることも頻繁にあるらしく、キャディーさん曰くここまで快晴になるのは稀だそうです。110周年の記念コンペに相応しい天候でした。

ではここで、神戸ゴルフ倶楽部のコース紹介です。先ほども少しお話ししましたが、神戸ゴルフ倶楽部は、典型的な山岳コースで、距離も短く、グリーンも小さいです。グリーンを外すと深いラフが待ち構えており、正確なショットとデリケートなアプローチショットが要求され

ます。また、全体的に起伏がとも激しいので、ラウンドしているとというよりもハイキングをしているのではないかと感じるほどです。また、とてもユニークなのは**18ホールすべてに愛称がついている**ということです。各ホールの愛称はそのコースの特徴から由来しているものが多く、それを確かめながらラウンドするというのも、神戸ゴルフ倶楽部ならではの楽しみ方の一つです。



戸ゴルフ倶楽部は、自然環境に配慮した草地管理により、ゴルフ場が多種多様な生き物の住み処となり絶滅が危惧される動物の重要な保護地となっています。注目すべきは、各ホールの藪です。神戸ゴルフ倶楽部では、原則として農薬を使用しないという

草地管理を行っており、六甲山の持つ草地環境が残っています。神戸ゴルフ倶楽部が開設された100年前の六甲山は、里山としての利用が進み、過剰な採草・伐採によって、草木の乏しい荒れた山々でした。今日、六甲山は植林事業の進展などによって、緑深い木々に覆われた山々となり、災害防止にも役立っていることはよく知られています。



と

ところが、定期的な草刈りが行われなくなった草原では、草地環境が荒廃・消失してしまい、今では神戸ゴルフ倶楽部を含む、六甲の限られた場所でしか、良好な草地環境は残されていないと言われています。プレー中にボールがラフに入った時は「失敗した」と落ち込んだり、躍起になったりせず、ぜひ足元に目をやってみるのもいいでしょう。きっと、可憐な草地の花々が癒してくれるはずです。また、鳥や虫の鳴き声が、あなたのラウンドを彩ってくれるでしょう。**神戸ゴルフ倶楽部でのラウンドは普段味わうことのできない特別な空間、そして自然そのものを肌で感じることでできる素敵な時間**でした。まさに、神戸ゴルフ倶楽部のモットーである、「自然

今

と共存」が表れていました。回は、コンペだけではなく、「神戸ゴルフ倶楽部創立110周年」と「日本ゴルフコース設計者協会創立20周年」を記念したレセプションパーティーも開催されました。会場となったクラブハウスには、

神戸ゴルフ倶楽部の歴史を留めた写真や当時のゴルフ用具があり、皆さんがプレー後からパーティーまでの空き時間に、記念撮影をしたり、支配人の方から話を聞かれている姿が色々な場所で見受けられました。テラスからはコースや神戸の街

そ

を一望でき、とても優雅な時間を過ごすことができます。

していいよ、レセプションパーティーです。

支配人や、設計者協会理事長の川田太三氏が、今後の協会のあり方や神戸ゴルフ倶楽部の魅力・モットーについてお話をなさっていて、参加者の皆さんがそれに対して感嘆されており、改めて神戸ゴルフ倶楽部と日本ゴルフコース設計者協会の素晴らしさや、これからの繁栄を感じることができた瞬間でした。

そ

して、待ちに待った表彰です。今回のコンペでは、18ホールストロークプレーで、隠しホールを設けての新ペリア方式を採用。**1組目からホールインワンが出るという、天候に**続いてのミラクルがでしたが、



どんな結果が待っているのでしょうか。日本ゴルフコース設計者協会の方々との共同開催でしたので、総勢60名のコンペとなりましたが、**なんと第2位にCHG会員の方が入賞**されました。参加者の多くが日本ゴルフコース設計者協会の方々と、CHGの参加枠は今回8名だけでした。そんな中で、CHG会員の方が入賞されたことはスタッフとして喜ばしい限りでした。

入賞された本澤勝様もご自身で驚かれています様子でしたが、「日本初のゴルフ場で入賞できたことはとてもうれしい。記念になりました」と喜びのコメントを頂きました。



セプションパーティーが終了した後は、CHG会員も設計者協会の方も関係



なく、今回のスコアや神戸ゴルフ倶楽部のコース、普段ラウンドするコースについてなど、時間が許す限り、皆さん思い思いに話をしているのがとても印象的でした。ゴルフというのは人と人とを繋げる素晴らしいスポーツであると改めて感じたことも



に、今回参加頂いた方が楽しんでいくなさっている様子を見て、ただただ嬉しかったです。

2

日目の会場となったのは、先日、森田理香子プロが最終18番ホールで5メートルのバーディパットを沈め、通算10アンダーとし、今期

3勝目を逆転で飾ったサントリーレディースオープンが開催された、六甲国際ゴルフ倶楽部です。このトーナメントが開催されたのは神戸ツアーから1週間も経たないうちでしたので、**コースのコンディションも非常によく、皆さんラウンドをとても楽しまれている様子**でした。今回皆様にプレー

して頂いた東コースは、全長7,315ヤードの距離の雄大なスケールと、時を超えた美しさを誇るクラシックな面持ちで、日本オープンや、日本シニアオープンなどナショナルオープンの舞台に選ばれています。そのセティングは非常に難易度が高く、ゴルフ場が持つ本来のオーソドックスな美しさに加え、タフさと国際基準の戦略性を兼ね備えています。



六

甲国際ゴルフ倶楽部のクラブハウスは、簡素で趣のある神戸ゴルフ倶楽部とは対照的に、皆さんが名門と聞いて思い描くような豪華なつくりです。建坪約1,400坪のクラブハウスは、玄関から入ると吹き抜けのある広いロビーが来場者を出迎えてくれました。

談話室には暖炉と、ゆったりとできるソファアがそろえられており、落ち着いた雰囲気にとめられた格調ある空間が作り出されています。

神

戸ゴルフ倶楽部では高低差が激しい丘陵コースでの歩きプレーだったせいか、皆さん口をそろえて「昨日の疲労がとれないな。今日はだめかも(笑)」とおっ

しゃっていました。皆さんと一緒に泊まったホテルでは、神戸ゴルフ倶楽部の後にマッサージを頼まれた方も多く、ある方はマッサージ師から、「今日はマッサージの予約がとても多いんです。お客様もゴルフですか?」と聞かれたそうです。

そんなお話を伺い私も心配しておりましたが、いざプレーを始めると、皆さん目が輝き出し、ラウンドへ意欲的に集中されていました。やはり、**皆さん根っからのゴルフ好きで、ゴルフを心から愛していらっしゃるのだ**なと感じました。

また、名門と呼ばれるゴルフ場は、プレーする前からそんなゴルファーの本心を引き出すほど素晴らしいコースなのだと感じました。

さ

て、六甲国際ゴルフ倶楽部では、「ステイブルフォード競技」でのプレーを行いました。

ルールを簡単に説明しますと、各ホールでのスコアをポイントに換算し、全ホール終了後の合計ポイントの多さで勝敗を競う競技方式です。具体的には下記の表のようにボギーは+1、パーは+2と、各スコアレベルに対してポイントが設定されており、それに従ってポイント換算をします。

ボギー	+1
パー	+2
バーディー	+4
イーグル	+6
ダブルイーグル	+10
ホールインワン	+10

皆

さん慣れない競技方法ではありましたが、特に変わったご様子もなくラウンドを楽しんでいらつしやいました。そんな中お一人のお客様は、連日のゴルフ、さらに難しいとされる**名門コースでのプレーで、初めて90を切った**と嬉しそうに話して頂きました。皆様のゴルフ上達をサポートしている私たちにとって、これほど嬉しい報告はなく、思わず私も一緒になつて喜んでしまいました。

これもみな、お客様が、米田プロを信じてレッスンを受けて下さり、ゴルフに対して真剣だからこそ生まれた結果だと思っています。そんな瞬間に立ち会うことができ、とても嬉しく思います。

2日目のプレー後は、研修会という形で支配人や設計

者協会の方からお話を伺いました。名門コースと呼ばれるのには様々な所以があり、それは歴史であったり、有名な設計家が設計、改修したりと色々です。事前にそのゴルフ場が名門たる所以を知ること、ただ「有名なコースをラウンドする」という楽しみだけではなく、**プレー以外の面でもゴルフを楽しむことができる**というのが、**名門ゴルフ場ならではの醍醐味**ですね。

こ

の2日間で、皆様が心からゴルフを楽しんでいる場に立ち会うことができました。皆さん1日目に初めてお会いされる方ばかりのはずなのに、2日目には意気投合されたようで、笑い声を多く聞くことができました。

今回は名門ゴルフ場のツアー

ーということで、普段なかなかプレーできないコースをプレーできたということもあり、皆様から、「充実した2日間を過ごせました。良い思い出になりました。」とお言葉を頂くことができました。また、最後には「せっかく、CHGの会員が集まったのだから、皆で記念写真を撮ろうよ」とも言って頂けました。**会員の方同士の新しい出会いの場を提供したいと考えていた私たちの、願いが叶った瞬間**でした。コンシューマーズハッピーゴルフでは、ゴルフ上達はもちろんのこと、新たな出会いの場、思い出に残るような体験を提供させて頂きます。皆様のゴルフライフ充実のために、全力でサポートさせて頂きますので、今後とも、よろしくお願い致します。

